

町職員の新人研修について

久保田かずえ町議は、2012年12月町議会において2つの一般質問を行いました。第一に町職員の新人研修について、第二に、原子力発電所事故の対応について町長の考えを尋ねました。

久保田かずえ町議

本町では、今年度の新人研修を入庁3年以内の職員を対象に、自衛隊隊内生活体験の研修を行った。県内では、南島原市と東彼3町のみとなっている。新人職員が一日も早く川棚町の職員として自覚と責任のもとで職責を全うするために新人研修を行うことは町民の側からも歓迎されるものである。



久保田かずえ町議

役立つことから研修に参加させた。

久保田町議

今回の訓練の中身であれば、役場の職員は、消防本部に所属しており、日ごろから、十分な訓練がなされているのではないか。

また、自治体の職員は住民の福祉の増進を図るといふ地方自治法に基づく自覚を持ち町民全体の奉仕者として責任を果たすことは大事であり、職員が町民のために、意欲と責任を持って業務に従事し、川棚町にとって有用な職員を育てることは自治体の長として重要なことである。今回の自衛隊への入隊は行うべきではないと考えるが町長の考えを尋ねる。

町長

地方自治法で職員研修を受ける機会を与えなければならぬとある。今回の自衛隊の研修は東彼杵郡町村会の事業として東彼3町で行った。

東日本大震災でも多くの自衛隊が派遣され被災地からも感謝されている。町行政の業務も多岐にわたっており、いつ事故や災害が発生するか分からない。そのため常に職員も危機意識を持つことが大事であり、町行政の業務に大いに

久保田町議

自衛隊の不祥事も多く聞かれる。関門を突破して優秀な成績で入ってきた職員を自衛隊に任せないで町長で充分研修できるのではないか。

また、今回の選挙の結果によつては、自衛隊は大変様変わりしてくる。

玄海原発事故の対応について

久保田町議

次に、玄海原子力発電所事故の対応について尋ねる

東京電力福島第一原子力発電所の事故は、原発の危険性を国民の前に事実を持って明らかにした。現在の原発の技術は、本質的に未完成できわめて危険なものである。原発は、莫大な放射性物質、死の灰を抱えているが、どんな事態が起きても閉じ込めておく完全な技術は存在しない。一度、大量の放射性物質が放出されれば、被害は深刻かつ広範囲で、将来にわたって影響を及ぼす。

福島原発事故は未だに収束しておらず、放射能汚染のために周辺住民は危険と不安にさらされ、住民の非難により地域の崩壊さえ生じている。

今後は、十分に考えて取り組むべきであり、止めてもらいたい。

町長

本町の職員だけ具体的な研修の内容を事前に説明していなかったことについて申し分なかった。

万が一、福島原発並みの事故が起きた場合、松浦市民の避難先に指定された本町の取り組みについて尋ねる。

一点目、代表避難所に指定されている「いきがいセンター」では、デイサービスが行われている不測の事態が発生した場合利用者の方への対応はどうするのか。

町長

デイサービスの施設は、いきがいセンターと区画が別のものとなっており影響はないと判断する。松浦市の職員と町の職員で対応するのでデイサービスの職員が対応することはない。また、支障がないよう、県や松浦市と連携して対応していきたい。

ウラに続く